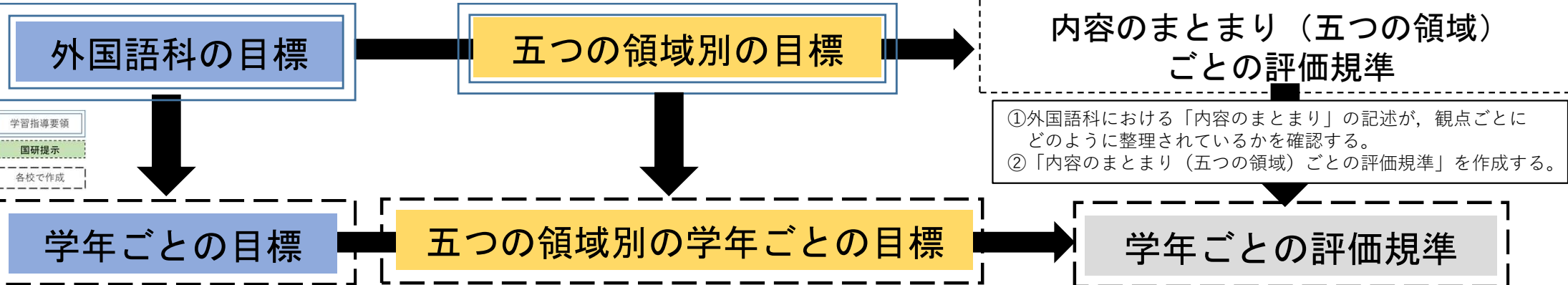


小学校 外国語科における評価規準を作成する際の手順



評価の進め方

- 1 単元（題材）の目標を作成する

○学習指導要領の目標や内容，学習指導要領解説等を踏まえて作成する。
- 2 単元（題材）の評価規準を作成する

○児童の実態，前単元（題材）までの学習状況等を踏まえて作成する。
- 3 「指導と評価の計画」を作成する

○1，2を踏まえ，評価場面や評価方法等を計画する。
○どのような評価の資料（児童の反応や作品など）を基に，「おおむね満足できる」状況（B）と評価するかを考えたり，「努力を要する」状況（C）への手立て等を考えたりする。
- 授業を行う

○3に沿って観点別学習状況の評価を行い，児童の学習改善や教師の指導改善につなげる。
- 4 観点ごとに総括する

○集まった評価の資料やそれに基づく評価結果（A，B，C）などから，観点ごとの総括的評価（A，B，C）を行う。

小学校 外国語科における単元の評価規準作成のポイント

外国語科における「内容のまとめり(五つの領域)ごとの評価規準」から、「単元ごとの評価規準」を作成する際の考え方

外国語科では、学習指導要領においては言語「英語」の目標を五つの領域別で示しており、学年ごとの目標を示していない。「指導計画の作成及び内容の取扱い」において、各学校において学年ごとの目標を設定することとしている。

このため、「外国語科の目標」「五つの領域別の目標」「内容のまとめり(五つの領域)ごとの評価規準」等に基づき、各学校が児童の実態等に応じて学校の「学年ごとの目標」及び「五つの領域別の『学年ごとの目標』」を設定した上で、「単元ごとの評価規準」を作成する場合の基本的な考え方を示す。

外国語科における「学年ごとの目標」及び「学年ごとの評価規準」の設定

- ・ 各学校においては、「外国語科の目標」及び「五つの領域別の目標」に基づき、各学校における児童の発達の段階と実情を踏まえ、「学年ごとの目標」「五つの領域別の『学年ごとの目標』」を適切に定める。
- ・ 五つの領域別の「学年ごとの目標」は、「五つの領域別の目標」を踏まえると、各々を資質・能力の三つの柱に分けずに、一文ずつの能力記述文で示すことが基本的な形となる。なお、五つの領域別の「学年ごとの目標」の設定は、これまでも中学校・高等学校においては「CAN-DOリスト形式」による学習到達目標の作成及び活用として、すでに行われてきたところである。
- ・ 一方で、五つの領域別の「学年ごとの目標」に対応する「学年ごとの評価規準」は、「内容のまとめり(五つの領域)ごとの評価規準を踏まえて、三観点で記述する必要がある。「学年ごとの目標」から「学年ごとの評価規準」を作成する手順は、「内容のまとめり(五つの領域)ごとの評価規準」の場合と基本的に同じである。

「単元ごとの目標」及び「単元ごとの評価規準」の設定

- ・ 「単元ごとの目標」は、五つの領域別の「学年ごとの目標」を踏まえて設定する。
- ・ 「単元ごとの評価規準」は、「内容のまとめり(五つの領域)ごとの評価規準」「学年ごとの評価規準」と同様に、「単元ごとの目標」を踏まえて設定する。
- ・ 「単元ごとの目標」及び「単元ごとの評価規準」は、各単元で取り扱う事柄や、言語の特徴や決まりに関する事項(言語材料)、当該単元を中心とする言語活動において設定するコミュニケーションを行う目的や場面、状況、取り扱う話題などに即して設定することになる。
- ・ 具体的には、第2編で示している「内容のまとめり(五つの領域)ごとの評価規準(例)」を基に、以下のような手順で作成することが可能である。
- ・ これらはいくまで例示であり、より重点化したり、より端的に記載したりすることも考えられる。目標に照らして観点別の評価を行う上で必要な要素が盛り込まれていれば語順や記載の仕方等は必ずしもこの例示の通りである必要はない。

6年 目標(例) (佐伯市立上堅田小 6年外国語科年間指導計画より)

6年 目標

知識及び技能	外国語の音声や文字, 語彙, 表現, 文構造, 言語の働きなどについて, 日本語と外国語との違いに気付き, これらの知識を理解するとともに, 読むこと, 書くことに慣れ親しみ, 聞くこと, 読むこと, 話すこと, 書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる基礎的な技能を身に付けている。
思考力・判断力・表現力等	コミュニケーションを行う目的や場面, 状況などに応じて, 身近で簡単な事柄について, 聞いたり話したりするとともに, 音声で十分に慣れ親しんだ外国語の語彙や基本的な表現を推測しながら読んだり, 語順を意識しながら書いたりして, 自分の考えや気持ちなどを伝え合うことができる基礎的な力を養う。
学びに向かう力, 人間性等	外国語の背景にある文化に対する理解を深め, 他者に配慮しながら, 主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

五つの領域別 6年 目標

聞くこと	ゆっくりはっきりと話されれば, 自分のことや身近で簡単な事柄について, 簡単な語句や基本的な表現を聞き取ることができるようにするとともに, 日常生活に関する身近で簡単な事柄について具体的な情報を聞き取ったり, 短い話の概要を捉えたりできるようにする。
読むこと	音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現の意味が分かるようにする。
話すこと 〔やり取り〕	基本的な表現を用いて指示, 依頼をしたり, それらに応じたりすることができる とともに, 日常生活に関する身近で簡単な事柄について, 自分の考えや気持ちなどを, 簡単な語句や基本的な表現を用いて伝え 合ったり, 自分や相手のこと及び身の回りの物に関する事柄について, 簡単な語句や基本的な表現を用いてその場で質問したり質問に答えたりして, 伝え合うことができるようにする。
話すこと 〔発表〕	日常生活に関する身近で簡単な事柄について, 簡単な語句や基本的な表現を用いて話すことができるようにすると ともに, 自分のことや身近で簡単な事柄についての自分の気持ちや考えなどを, 伝えようとする内容を整理したうえで, 簡単な語句や基本的な表現を用いて話すことができるようにする。
書くこと	語順を意識しながら音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を書き写すことができるようにすると ともに, 自分のことや身近で簡単な事柄について, 例文を参考に, 音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を用いて書くことができるようにする。

6年 評価規準(例) (佐伯市立上堅田小 6年外国語科年間指導計画より)

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
聞くこと	<p>[知識] 英語の特徴や決まりに関する事項を理解している。</p> <p>[技能] 実際のコミュニケーションにおいて、自分のことや身近で簡単な事柄などについて話される簡単な語句や基本的な表現、日常生活に関する身近で簡単な事柄について具体的な情報を聞き取る技能を身に付けている。</p>	<p>コミュニケーションを行う目的や、場面、状況などに応じて、日常生活に関する身近で簡単な事柄などについて話される短い話を聞いて、その概要を捉えている。</p>	<p>外国語の背景にある文化に対する理解を深め、他者に配慮しながら、主体的に英語で話されたものを聞こうとしている。</p>
読むこと	<p>[知識] 英語の特徴や決まりに関する事項を理解している。</p> <p>[技能] 実際のコミュニケーションにおいて、音声で十分慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現が分かる技能を身に付けている。</p>	<p>コミュニケーションを行う目的や、場面、状況などに応じて、日常生活に関する身近で簡単な事柄や、自分や相手のこと及び身の回りの物に関する事柄などについて書かれた、音声で十分慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を推測しながら読んで、意味が分かっている。</p>	<p>外国語の背景にある文化に対する理解を深め、他者に配慮しながら、主体的に英語で書かれたものの意味を分かろうとしている。</p>
話すこと(やり取り)	<p>[知識] 英語の特徴や決まりに関する事項を理解している。</p> <p>[技能] 実際のコミュニケーションにおいて、日常生活に関する身近で簡単な事柄についての自分の考えや気持ちなどや、自分や相手のこと及び身の回りの物に関する事柄などについて、簡単な語句や基本的な表現を用いて、自分の考えや気持ちなどを伝え合う技能を身に付けている。</p>	<p>コミュニケーションを行う目的や、場面、状況などに応じて、日常生活に関する身近で簡単な事柄や、自分や相手のこと及び身の回りの物に関する事柄などについて、簡単な語句や基本的な表現を用いて、自分の考えや気持ちなどを伝え合っている。</p>	<p>外国語の背景にある文化に対する理解を深め、他者に配慮しながら、主体的に英語を用いて伝え合おうとしている。</p>
話すこと(発表)	<p>[知識] 英語の特徴や決まりに関する事項を理解している。</p> <p>[技能] 実際のコミュニケーションにおいて、日常生活に関する身近で簡単な事柄について、自分や相手のこと及び身の周りの物に関することなどについて、簡単な語句や基本的な表現を用いて、自分の考えや気持ちなどを話す技能を身に付けている。</p>	<p>コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常生活に関する身近で簡単な事柄や、自分や相手のこと及び身の回りの物に関する事柄などについて、簡単な語句や基本的な表現を用いて、自分の考えや気持ちなどを話している。</p>	<p>外国語の背景にある文化に対する理解を深め、他者に配慮しながら、主体的に英語を用いて話そうとしている。</p>
書くこと	<p>[知識] 英語の特徴や決まりに関する事項を理解している。</p> <p>[技能] 実際のコミュニケーションにおいて、音声で十分慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を書き写したり、例を参考に書いたりするための技能を身に付けている。</p>	<p>コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常生活に関する身近で簡単な事柄や、自分や相手のこと及び身の回りの物に関する事柄などについて、音声で十分慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を書き写したり、例を参考に書いたりしている。</p>	<p>外国語の背景にある文化に対する理解を深め、他者に配慮しながら、主体的に英語を用いて書き写したり書いたりしようとしている。</p>

五つの領域ごとの観点別評価の考え方

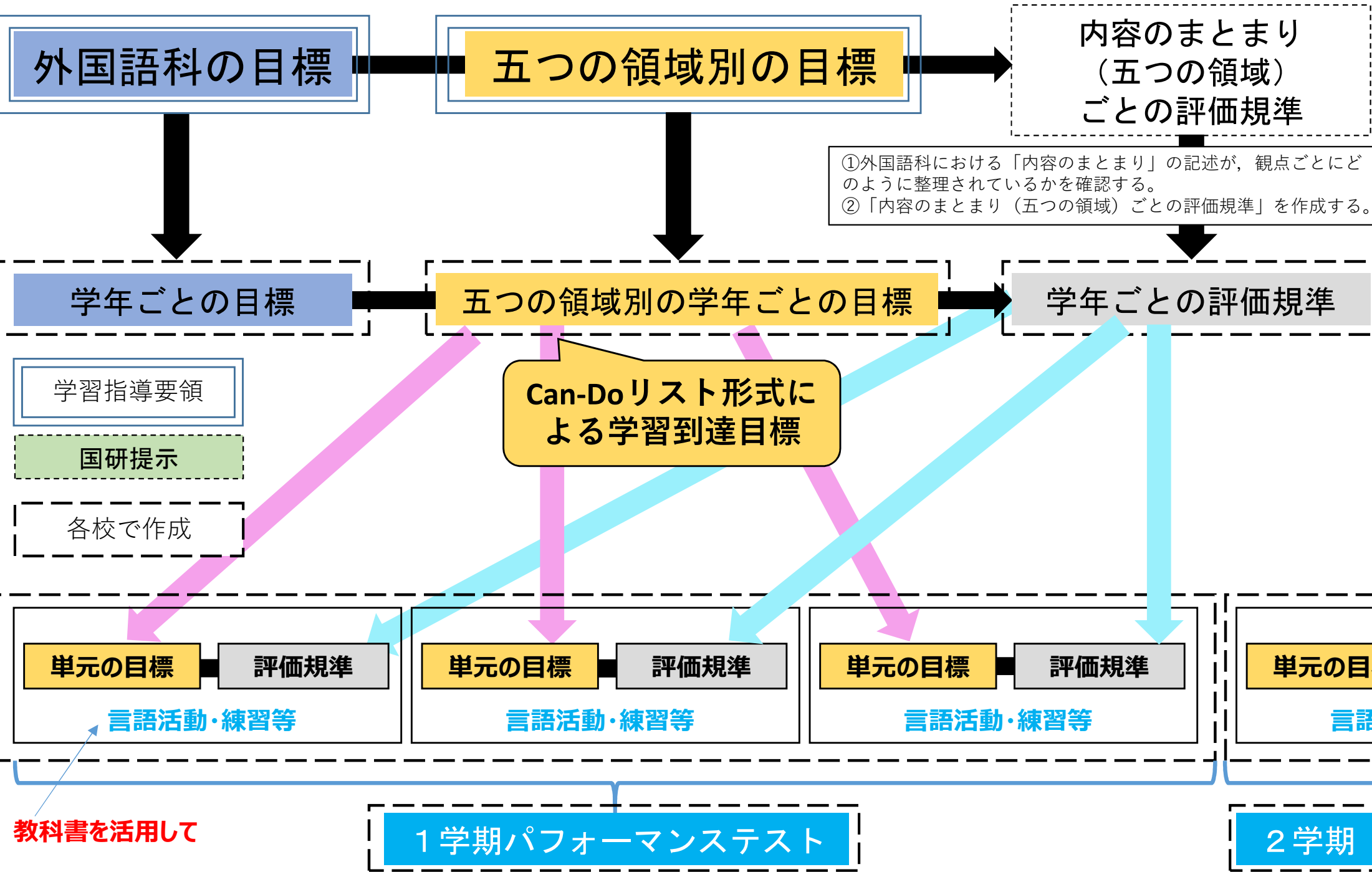
指導要録に記載
(学年末)

	聞くこと	読むこと	話すこと [やり取り]	話すこと [発表]	書くこと	観点別 評価	評価
知識・技能							
思考・判断・ 表現							
主体的に 学習に取り組む 態度							

学年末に評価を総括し、指導要録に記載する際に全ての評価情報が揃っていればよく、各單元ごとに、全ての領域・観点について記録に残す評価を行う必要はない

ただし、各單元において、3観点をバランスよく見ることは重要

小学校 外国語科における評価規準を作成する際の手順



小学校 外国語科における単元の評価規準作成のポイント

「読むこと」の場合

各単元で取り扱う事柄や、言語の特徴やきまりに関する事項（言語材料）、当該単元の中心となる言語活動において設定するコミュニケーションを行う目的や場面、状況、取り扱う話題などに即して設定

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価規準（設定例）	<p><知識></p> <p>アルファベットの活字体の大文字・小文字について理解している。</p> <p>言語材料</p>	<p>ALTなどに自分の名前スペリングを目的等理解してもらったり、ALTや友達の名前スペリングを確認するために、名前スペリングを発音したり、識別し事柄・話題たりしている。</p>	<p>ALTなどに自分の名前スペリングを目的等理解してもらったり、ALTや友達の名前スペリングを確認するために、名前スペリングを発音したり、識別し事柄・話題たりしようとしている。</p>
	<p><技能></p> <p>アルファベットの活字体の大文字・小文字を識別したり、その読み方を発音したりする技能を身に付けている。</p>		

<知識>

- 「【アルファベットの活字体の文字】について理解している。」が基本的な形となる。
- 【アルファベットの活字体の文字】には、当該単元で扱うアルファベットの活字体の文字が入る。

<技能>

- 「【アルファベットの活字体の文字】を識別したり、その読み方（名称）を発音したりする技能を身に付けている。」が基本的な形となる。
- 【アルファベットの活字体の文字】には、当該単元で扱うアルファベットの活字体の文字が入る。

- 「【目的等】に応じて、【事柄・話題】について書かれた簡単な語句や基本的な表現を声に出して読んでいる。」が基本的な形となる。
- 【目的等】には、当該単元の中心となる言語活動において設定するコミュニケーションの目的や場面、状況を、「〇〇に応じて」「〇〇するように」「〇〇するために」などの形で当てはめる。その際、学習指導要領の「言語の使用場面の例」や「言語の働きの例」を踏まえて設定する。
- 【事柄・話題】には、当該単元で扱う題材における話題等が入る。

※「読むこと」のイのみ、文末が「～するようにする」となっていることに留意する。

- 「【目的等】に応じて、【事柄・話題】について、書かれた簡単な語句や基本的な表現を声に出して読もうとしている。」が基本的な形となる。

※言語活動への取組に関して見通しを立てたり振り返ったりして自らの学習を自覚的にとらえている状況については、特定の領域・単元だけではなく、年間を通じて評価する。

小学校 外国語科における単元の評価規準作成のポイント

「話すこと [やり取り]」の場合

各単元で取り扱う事柄や、言語の特徴やきまりに関する事項（言語材料）、当該単元
 の中心となる言語活動において設定するコミュニケーションを行う目的や場面、状況、
 取り扱う話題などに即して設定

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価規準（設定例）	<知識> 身の回りの物を表す語や、I like/want/have 言語材料 ～., Do you ～?, What do you ～?の表現 について理解している。	新しくやってきたALTのことを理解し 目的等 たり自分のことを伝えたりするために、	新しくやってきたALTのことを理解し 目的等 たり自分のことを伝えたりするために、
	<技能> 自分や相手のことについて、身の回りの 事柄・話題 物を表す語や、I like/want/have ～., Do 言語材料 you ～?, What do you ～?を用いて、 <u>考え</u> や <u>気持ち</u> などを伝え合う技能を身に付け 内容 ている。	自分や相手のことについて、簡単な語 事柄・話題 句や基本的な表現を用いて、 <u>考え</u> や <u>気</u> 内容 持ちなどを伝え合っている。	自分や相手のことについて、簡単な語 事柄・話題 句や基本的な表現を用いて、 <u>考え</u> や <u>気</u> 内容 持ちなどを伝え合おうとしている。

<知識>
 ・「【言語材料】について理解している。」が基本的な形となる。
 ・【言語材料】には、当該単元で扱う言語材料が入る。
 ・言語材料の種類に応じて、「〇〇の意味や働きを」などの形で当てはめることも考えられる。

<技能>
 ・「【事柄・話題】について、【言語材料】などを用いて、【内容】を伝え合う技能を身に付けている。」が基本的な形となる。
 ・【事柄・話題】には、当該単元で扱う題材における話題等が入る。
 ・【内容】には、当該単元の中心となる言語活動において伝え合う、【事柄・話題】についての自分の考えや気持ち、あるいは指示や依頼及びそれらへの応答など、伝え合う内容が入る。

・「【目的等】に応じて、【事柄・話題】について、簡単な語句や基本的な表現を用いて【内容】を伝え合っている。」が基本的な形となる。
 ・【目的等】には、当該単元の中心となる言語活動において設定するコミュニケーションの目的や場面、状況を、「〇〇に応じて」「〇〇するよう」「〇〇するために」などの形で当てはめる。その際、学習指導要領の「言語の使用場面の例」や「言語の働きの例」を踏まえて設定する。

・「【目的等】に応じて、【事柄・話題】について、簡単な語句や基本的な表現を用いて【内容】を伝え合おうとしている。」が基本的な形となる。
 ※言語活動への取組に関して見通しを立てたり振り返ったりして自らの学習を自覚的にとらえている状況については、特定の領域・単元だけではなく、年間を通じて評価する。

小学校 外国語科における単元の評価規準作成のポイント

<p>単元名</p> <p>We Can!1 Unit2 「When is your birthday?」 (第5学年)</p>	<p>関係する内容のまとめ</p> <p>「聞くこと」 イ ゆっくりはっきりと話されれば、日常生活に関する身近で簡単な事柄について、具体的な情報を聞き取ることができるようにする。</p> <p>「話すこと〔やり取り〕」 イ 日常生活に関する身近で簡単な事柄について、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて伝え合うことができるようにする。</p> <p>「書くこと」 ア 大文字、小文字を活字体で書くことができるようにする。</p>
---	--

単元の目標

自分のことをよく知ってもらったり相手のことをよく知ったりするために、相手の誕生日や好きなもの、欲しいものなど、具体的な情報を聞き取ったり、誕生日や好きなもの、欲しいものなどについて伝え合ったりできる。また、アルファベットの活字体の大文字を書くことができる。

※なお、本単元における「書くこと」については目標に向けて指導は行うが、本単元内で記録に残す評価は行わない。

単元の評価規準

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
聞くこと	<p><知識> 月日の言い方や、I like/want～. Do you like/want～? What do you like/want? When～? その答え方について理解している。</p> <p><技能> 誕生日や好きなもの、欲しいものなど、具体的な情報を聞き取る技能を身に付けている。</p>	<p>相手のことをよく知るために、誕生日や好きなもの、欲しいものなど、具体的な情報を聞き取っている。</p>	<p>相手のことをよく知るために、誕生日や好きなもの、欲しいものなど、具体的な情報を聞き取ろうとしている。</p>
話すこと〔やり取り〕	<p><知識> 月日の言い方や、I like/want～. Do you like/want～? What do you like/want? When～? その答え方について理解している。</p> <p><技能> 知識を使って、誕生日や好きなもの、欲しいものなどについて、I like/want～. When is your birthday? What do you like/want? などを用いて、考えや気持ちを伝え合うために必要な技能を身に付けている。</p>	<p>自分のことをよく知ってもらったり相手のことをよく知ったりするために、自分や相手の誕生日や好きなもの、欲しいものなどについて、簡単な語句や基本的な表現を用いて、お互いの考えや気持ちなどを伝え合っている。</p>	<p>自分のことをよく知ってもらったり相手のことをよく知ったりするために、自分や相手の誕生日や好きなもの、欲しいものなどについて、簡単な語句や基本的な表現を用いて、お互いの考えや気持ちなどを伝え合おうとしている。</p>

新・小学校外国語活動単元計画(例)【第5学年】

【単元の目標】		主な評価とその場面の例		
<p>自分のことをよく知ってもらったり相手のことをよく知ったりするために、相手の誕生日や好きなもの、欲しいものなど、具体的な情報を聞き取ったり、誕生日や好きなもの、欲しいものなどについて伝え合ったりできる。また、アルファベットの活字体の大文字を書くことができる。</p>		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
【本時の目標】				
1時	月の言い方を知る。また、アルファベットの活字体の大文字を書くことができる。			
2時	月名を聞いたり言ったりすることができるとともに、日付の言い方を知る。また、アルファベットの活字体の大文字を書くことができる。			
3時	誕生日や好きなものを聞き取ることができる。また、アルファベットの活字体の大文字を書くことができる。			
4時	誕生日や好きなもの、欲しいものを聞き取ったり、それらについて尋ねたり答えたりして伝えたりすることができる。また、アルファベットの活字体の大文字を書くことができる。	「聞くこと」: 指導者の誕生日や好きなもの、欲しいものを聞き取っている。<行動観察・ワークシート記述分析>		
5時	相手のことをよく知るために、誕生日などについて短い話を聞いて、具体的な情報を聞き取ったり、誕生日や好きなもの、欲しいものを尋ねたり答えたりして伝え合うことができたりする。また、アルファベットの活字体の大文字を書くことができる。		「聞くこと」: 相手のことをよく知るために、誕生日などについて短い話を聞いて、具体的な情報を聞き取っている。<行動観察・テキスト記述分析>	「聞くこと」: 相手のことをよく知るために、誕生日などについて短い話を聞いて、具体的な情報を聞き取ろうとしている。<行動観察・テキスト記述分析>
6時	自分のことをよく知ってもらったり相手のことを知ったりするために、誕生日や好きなもの、欲しいものなどについて尋ねたり答えたりして伝え合うことができる。また、アルファベットの活字体の大文字を書くことができる。	「話すこと[やり取り]」: 誕生日や好きなもの、欲しいものを尋ねたり答えたりして伝え合っている。<行動観察>		
7時	自分のことをよく知ってもらったり相手のことをよく知ったりするために、誕生日や好きなもの、欲しいものなどについて尋ねたり答えたりして伝え合おうとする。		「話すこと[やり取り]」: 自分のことをよく知ってもらったり相手のことをよく知ったりするために、誕生日や好きなもの、欲しいものなどについて尋ねたり答えたりして伝え合っている。<行動観察>	「話すこと[やり取り]」: 自分のことをよく知ってもらったり相手のことをよく知ったりするために、誕生日や好きなもの、欲しいものなどについて尋ねたり答えたりして伝え合おうとしている。<行動観察>